

民衆の声
ボイス

No.100

公明党 横浜市会ニュース

VOICEよこはま

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市会議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL.671-3023 FAX.681-2060

若者の“イイネ”が政治を動かす! 街頭で青年の声を聴く



公明党青年委員会は、桜木町駅前でアンケート運動「ボイスアクション (VA)」を展開しました。山口那津男代表とともに三浦のびる党青年局長が参加し、道行く「未来のつくりて」である若者たちに呼び掛け、ボードに示された5つのビジョンから“イイネ”と思う項目にシールを貼ってもらいました。

ボイスアクションの5つのビジョン

- 1 命と暮らしの安心保障を全ての人に!
- 2 個人の幸福が感じられる経済成長や働き方に!
- 3 “ありのまま”が輝く多様な社会に!
- 4 “地球の未来”を守る日本に!
- 5 “あなた”の声が届く政治や行政に!



声が“カタチ”に

公明党が過去に行った3回のボイスアクションでは、1000万人を超える若者の声が寄せられ、各政策を着実に実現させる力になりました。幼児教育の無償化、携帯料金の削減や奨学金の返済支援、非正規雇用の待遇改善や不妊治療の保険適用など、数々の声を“カタチ”にしています。

ロシア非難決議

3月23日の定例会最終日には横浜市会の総意として、「ロシアによるウクライナ侵攻を非難し、国際紛争における武力行使の根絶を求める決議」を、全会一致で採択。ロシアによる国際法・国連憲章への重大な違反、多くの民間人の犠牲について糾弾し、即時の攻撃停止と撤退を要求。政府に対して国際社会との連携と避難民受け入れの推進、全ての国連加盟国に対して国際紛争解決へ武力の行使を行わないよう要請しました。



本会議場で起立採決



市庁舎をウクライナカラーにライトアップ



神奈川区政務調査会
公明党横浜市議員
たけうち やすひろ

竹内やすひろ

2022年の日中国交正常化をはじめ、節目節目で大きな役割を果たしてきました。人権問題など、我が国と中国の関係は難しい状況にあります。両国民の願いは平和な社会と自身や家族の幸せです。

令和4年 第1回定例会における論戦より

予算代表質疑

コロナ禍でのホームヘルプ事業者に対する支援

コロナ禍においても、高齢者や障害者の食事や排せつなど、日常の生活をしていくうえで、ホームヘルパー等の支援が不可欠であり、利用者からは、コロナ禍でこれまでどおり利用できるか不安の声があります。業務に従事できないような状況となれば、その支援を必要とする高齢者や障害者、その家族も含めて死活問題となります。ホームヘルパー制度が崩壊しないように支えていくべきと質しました。

山中市長は、職員や利用者に陽性者が出た場合、直ちに必要となるガウンやフェイスシールド等を配付。衛生物品の購入やサービスの継続に必要な人員の確保にかかる経費も助成。さらに、事業者が運営体制を確保できるよう、新たに抗原検査キットを配付し必要なサービスを継続して提供できるように支援していくと答弁しました。

予算関連質疑

国際平和の実現

公明党は、日中国交正常化をはじめ、節目節目で大きな役割を果たしてきました。人権問題など、我が国と中国の関係は難しい状況にあります。両国民の願いは平和な社会と自身や家族の幸せです。

議案関連質疑

中学校給食の充実

現在のデリバリー型給食は、長年に渡り議論を重ねてきた結果、本市における中学校給食の導入を実現できたものです。今後も、生徒・保護者のニーズを的確に捉え、より良い中学校給食となるよう発展させていくことが必要です。そこで、これまでの取組みを踏まえ、現在のデリバリー型給食をどのように発展させていくのか質問しました。

教育長は、新たに設置する専任体制を中心に、給食の魅力を伝える広報や地産地消に取り組みとともに、食材の充実など、更なる質の向上を図り、多くの方に選ばれる給食を目指すとして答弁しました。



横浜上海友好都市提携45周年記念イベント(平成30年)

横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンター

Tel.045-550-5530 Fax.045-846-0500
《帰国者・接触者相談センター》 *24時間対応(土日、祝日を含む)

- 感染症の特徴、予防方法、有症時の対応など、全般的な相談
- 症状がある方等に検査を実施している医療機関を紹介

市民相談

神奈川区大口通127-16 コスガビル1F
横浜市議員 竹内 やすひろ

TEL.045-716-6822 FAX.045-716-6823

E-mail:mail@takeuchi.180r.com